

問9 男女共同参画社会づくり推進のため
自らが行ないたい取り組み

1	「男はこうあるべき、女はこうあるべき」という自分の価値観をおしつけない		486人	50.3%
2	家事の分担について見直したい(家庭の中で話し合いをするなど)		311人	32.2%
3	PTAや町内会活動に、責任者ではない立場で参加する・加勢する		145人	15.0%
4	男女共同参画を進める行政の事業に協力する		136人	14.1%
5	各種の研修会、講習会に参加して学ぶ		117人	12.1%
6	町内会活動などに参加する(役員になったり、様々な行事の責任者として携わったりする)		97人	10.0%
7	男女共同参画を進める教育現場の取り組みを、なんらかの形で後押しする		82人	8.5%
8	職場の中で、男女共同参画の推進について議論を深めて行きたい		57人	5.9%
9	男女共同参画を進める議員の活動を後押しする		45人	4.7%
10	PTA活動に参加する(役員になったり、様々な用務の役割分担に応じたりする)		35人	3.6%
11	男女共同参画の運動(集会や陳情活動など)に参加する		33人	3.4%
12	その他		16人	1.7%
13	男女共同参画は大事だとは思うが、自ら進んで何かをしたいとは思わない		128人	13.2%
14	男女共同参画の取り組みは必要ない		16人	1.7%

問9では、自ら行ないたい取り組みに、「男はこうあるべき、女はこうあるべき」という価値観を押しつけない」「家事分担について見直したい」などの回答が多くありました。わたしたちの周囲を見回してみても、性別による不利益が時々見られますが、そんな状況でもできることが何かあるはずです。

ここで挙げられた問いの中に、PTAや地域の活動、研修会の参加、市の男女共同参画の事業への協力などがあります。これらの取り組みは、いつでも、どこでも、誰でも実践できる、まちづくり・家庭づくりには欠かせないものです。

職場や家庭・地域でも、性別でやることを決めるのではなく、できる人ができる時にできる範囲でやれるような環境づくりが必要なのではないでしょうか。



仕事も育児も頑張るパパは「イクメン」

男女共同参画関係の聞いてみたい講演内容ベスト3は、「介護」「ワークライフバランス」「子育て」でした。現代の高齢社会において、市民の皆さんが介護の問題に高い関心を持っていることや、日常の仕事・生活・子育ての場面で男女共同参画の必要性を感じていることが推測されます。

市は現在、男女共同参画まちづくり講座や啓発情報誌「いっば」の配布を行なっています。このご意見を基にそうした取り組みに取り入れていくようにしていきます。



女性も働きやすい社会に

問10 男女共同参画の啓発のために
実施してほしい講座、講演会

1	介護について		331人	34.2%
2	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について		271人	28.0%
3	子育てについて		262人	27.1%
4	家族や夫婦の間での、男女共同参画についての対話の進め方について		206人	21.3%
5	地域や職場においての、男女共同参画についての対話の進め方について		169人	17.5%
6	男女共同参画全般について		140人	14.5%
7	男女共同参画を進める各種団体の紹介、活動への参加方法について		98人	10.1%
8	自殺予防について		97人	10.0%
9	パワー・ハラスメント(上位の地位にある者からのいやがらせ)について		84人	8.7%
10	ドメスティック・バイオレンス(配偶者等からの暴力)について		51人	5.3%
11	セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)について		43人	4.4%
12	性同一性障害に関する理解促進や偏見の排除について		33人	3.4%
13	夫婦別姓について		31人	3.2%
14	その他		20人	2.1%
15	わからない		165人	17.1%

◆今後の市の取り組み

本市には現在、市長が区長・学校・保育園・企業・PTAなど各種団体の代表の皆さんに委員として委嘱している男女共同参画推進懇話会と、市職員で組織する男女共同参画推進委員会があります。

今回、市民の皆さんにご協力いただいた調査結果は、男女共同参画の推進において重要な資料として、内容を

精査し、平成24年度から始まる第2期の市男女共同参画推進行動計画に反映させていただきます。

国、県、市では、この男女共同参画の取り組みを重要課題と位置づけています。現代社会で問題になっている多くの課題には、男女共同参画の視点から見れば解決可能な部分もあるようです。

市民の皆さんには、今後も男女共同参画の取り組みにご協力いただきますようお願いします。

問4 女性の人権が尊重されていないと感じるとき

1	男女の固定的な役割分担意識		474人	49.0%
2	職場における男女の待遇の違い		411人	42.5%
3	セクシャル・ハラスメント(性的いやがらせ)		305人	31.5%
4	女性ということで意見を無視する行為		264人	27.3%
5	売春・買春、援助交際		191人	19.8%
6	配偶者や恋人などからの暴力		186人	19.2%
7	女性のヌード写真や映像の商品化など		152人	15.7%
8	女性に対するストーカー行為(つきまとい行為など)		136人	14.1%
9	女性の容姿などを競うコンテスト		67人	6.9%
10	その他		7人	0.7%
11	特に感じることはない		87人	9.0%
12	わからない		67人	6.9%

問4では、女性の人権尊重の課題を聞いています。やはり、回答率第1位の「男性は仕事、女性は家事・育児」のような固定的役割分担意識が、女性に対する人権の課題になっているようです。その他、待遇やセクハラ、女性軽視など解決すべき問題は多いのが現状です。

問5 ドメスティック・バイオレンス(DV)について

1	暴力がテレビや新聞などで問題になっていることは知っている		691人	71.5%
2	暴力について見聞きしたことはない		172人	17.8%
3	身近に暴力を受けた当事者がいる		147人	15.2%
4	暴力を受けたことがある		79人	8.2%
5	身近な人から相談を受けたことがある		71人	7.3%
6	暴力をふるったことがある		22人	2.3%
7	その他		7人	0.7%

問5では、社会やマスコミで問題になっているDVについて聞いています。DVと次に出てくるセクハラについては、すでに市男女共同参画まちづくり条例で禁止をうたっています。

しかし、平成21年度の市への相談件数がのべ55件に達し、問題解決に大きな課題が残されています。

問6 職場・地域・学校などでの
セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)について

1	セクハラがテレビや新聞などで問題になっていることは知っている		685人	70.8%
2	セクハラについて見聞きしたことはない		186人	19.2%
3	身近にセクハラを受けた当事者がいる		103人	10.7%
4	セクハラを受けたことがある		100人	10.3%
5	身近な人から相談を受けたことがある		38人	3.9%
6	セクハラをしたことがある		6人	0.6%
7	その他		16人	1.7%

問6では、セクハラについて聞いています。セクハラは用語としてはかなり一般的になり、「良くないことである」という認識は誰も持っているはずです。

しかし、何らかの形でセクハラを受けた人がいるという現実があり、相手の人権を侵害する行為であることを、今後の男女共同参画推進の中でも取り入れていく必要があるようです。

問7 職場・地域・学校などでの性同一性障害について

1	性同一性障害がテレビや新聞などで問題になっていることは知っている		748人	77.4%
2	性同一性障害という言葉を知ったことがある		534人	55.2%
3	性同一性障害について聞いたことはない		81人	8.4%
4	性同一性障害を学習したことがある		60人	6.2%
5	身近に当事者がいる		22人	2.3%
6	身近な人から相談を受けたことがある		11人	1.1%
7	その他		8人	0.8%

問7では、「性同一性障害」について聞きました。現在、テレビ番組などでも取り上げられるようになり、この障害に苦しんでいる人たちがいる、という現実には認識していかなければなりません。「男女共同参画推進条例」で、このような人たちの人権に配慮する内容の条文がすでにうたわれている自治体もあります。今後、市男女共同参画推進懇話会などで、この件について議論していくこととしています。

問8 合志市での男女共同参画の推進

1	とても推進されていると思う		24人	2.5%
2	まあまあ推進されていると思う		172人	17.8%
3	どちらともいえない		148人	15.3%
4	あまり推進されていないと思う		40人	4.1%
5	推進されていないと思う		21人	2.2%
6	わからない		436人	45.1%
7	無回答		126人	13.0%

問8では、市の推進状況を聞いています。市では、「男女共同参画まちづくり条例の制定」「男女共同参画都市宣言」「男女共同参画推進行動計画」に基づいて、イベントの実施や啓発冊子の発行、広報紙での関係記事の掲載などを行なっています。

しかし、約5割の人が「わからない」と回答していますので、周知の方法も含め、より積極的に取り組んでいく必要があるようです。